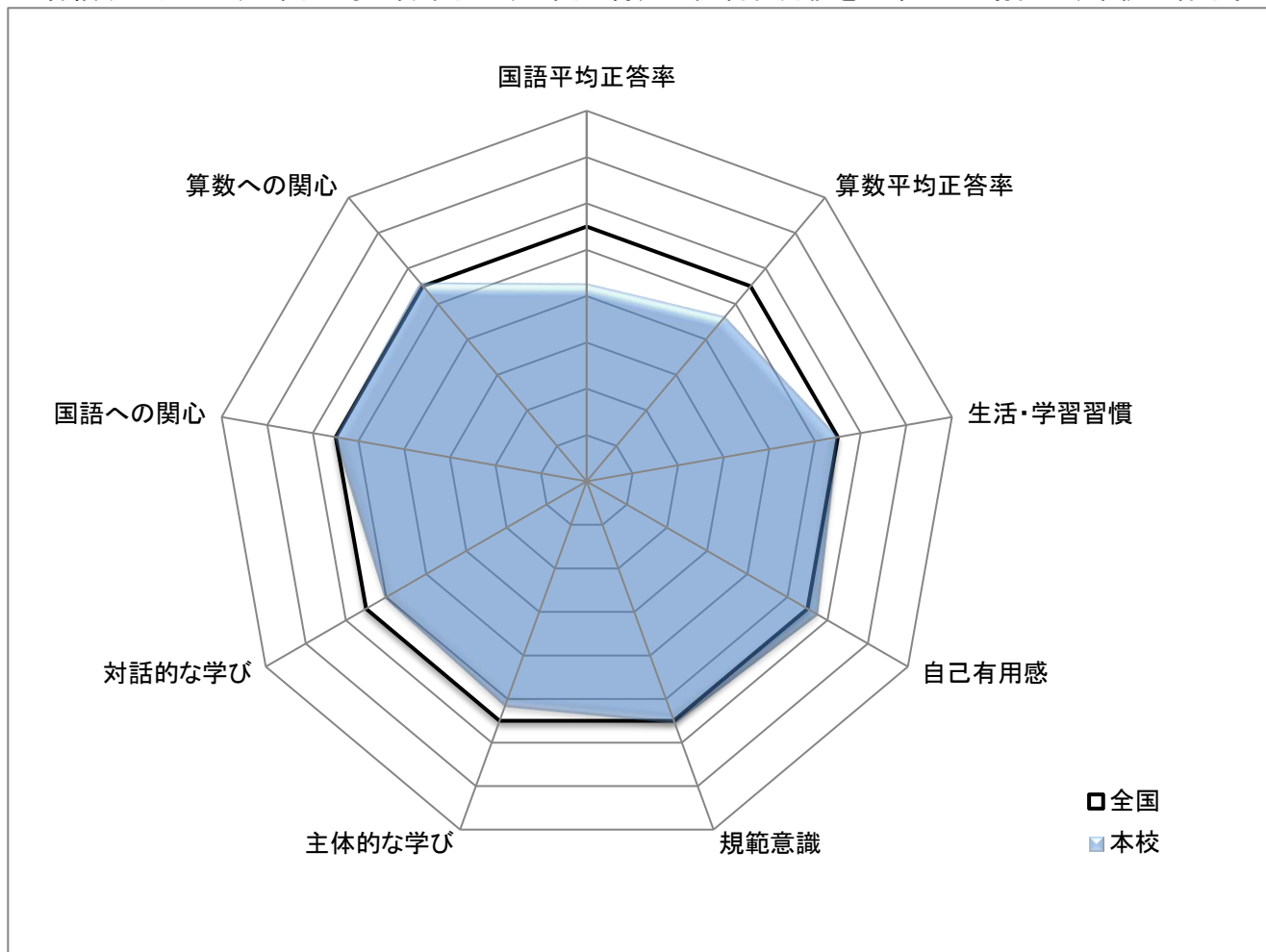


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

国語、算数ともに全国平均を下回っていることから、基礎知識を積み上げ、既習事項を基に自ら思考して問題を解決しようとする姿勢を育てていくことが引き続き必要である。具体的には、「関心」は高いものの「主体的」「対話的」な学びが低いスコアであることから、問題解決型の学習をより一層充実させていくことが必要である。また、学習形態の工夫をし、児童同士で考えを伝え合う活動を取り入れていく。

《授業改善のポイント》

生活・学習習慣を引き続き定着させ、確かな学力の更なる向上を目指す。「話す・聞く」能力を一層向上させるため、国語を中心に教育活動全体を通じて言語活動の充実を図る。一斉、グループ、個別等の学習形態を工夫し、児童相互の意見交換が活発に行える学習環境を整える。算数においては、確かな学力の定着を図るため、引き続き日常的な算数的活動を展開していく。また、基礎基本の定着を図るため、授業及び補習の時間にベーシックドリルや課題プリントを活用して、繰り返し基礎の学習を行っていく。

《チャートの特徴》

国語・算数ともに、「関心」は全国と比較すると上回っている。また、「自己有用感」「生活・学習習慣」「規範意識」についても、全国と比較すると上回っている。家庭との連携を、更に深めるよう努め、向上に取り組んでいく。

《家庭・地域への働きかけ》

親子のコミュニケーションを更に促し、家庭学習の在り方や基礎学力を定着させるような家庭学習の内容を提案していく。